

17名の  
議員が  
聞いた!

# 一般質問

12月議会では、17名の議員が質問に立ちました。  
全質問項目は下記のとおりです。6ページからの本文は、  
質問をした議員本人が要約して執筆しています。

**6p** **大原伊一** 議員  
(旭日会) **No.1**

1. 市長の政治姿勢について
2. 農業政策について

**9p** **渡邊広宣** 議員  
(鴻鵠クラブ) **No.8**

1. 政治姿勢について
2. 教育行政について

**12p** **長井由喜雄** 議員  
(日本共産党) **No.13**

1. 「インフルエンザ予防接種補助」の中学生までの拡大と、さらなる予防策について
2. 学校における楽器整備の状況と「楽器バンク制度」について

**6p** **渡邊雄三** 議員  
(公明党) **No.2**

1. 交通安全対策について
2. 小中学校校舎施設整備について
3. 市役所周辺及び業務について
4. 地域防災について

**10p** **小林由明** 議員  
(旭日会) **No.9**

1. 未来にける市の姿勢について
2. 食を通じたまちおこしについて
3. 子どもたちの安心安全について
4. 委託業務の点検・評価・指導について
5. 市民に信頼される市役所を目指して

**12p** **タナカ・キン** 議員  
(無所属) **No.14**

1. 仲町駐車場について
2. 分水庁舎解体工事について
3. 職員の不祥事について
4. 「スワローズカップ」の優勝カップについて

**7p** **本多了一** 議員  
(日本共産党) **No.3**

1. 市長の政治姿勢について

**10p** **土田 昇** 議員  
(日本共産党) **No.10**

1. 農業問題について

**13p** **齋藤紀美江** 議員  
(旭日会) **No.15**

1. 観光政策について
2. 庁舎管理について
3. 農業政策について
4. 自治体及び事業者の社会責任について

**7p** **樋浦恵美** 議員  
(公明党) **No.4**

1. 教育環境の整備について
2. 保健事業について

**11p** **山崎雅男** 議員  
(旭日会) **No.11**

1. 排水対策について
2. 公園整備事業について
3. 旧3庁舎の利活用について
4. 旧保養施設「たのうら燕」について

**13p** **阿部健二** 議員  
(無所属) **No.16**

1. 二元代表制と市政について
2. 行政視察について

**8p** **埜 豊** 議員  
(旭日会) **No.5**

1. 燕市の財政状況について
2. 教育問題について

**11p** **中山真二** 議員  
(旭日会) **No.12**

1. 指定管理者制度について
2. 水道事業について
3. 新市建設計画について
4. 基金について
5. 職員の懲戒について

**14p** **大岩 勉** 議員  
(旭日会) **No.17**

1. 平成25年度施政方針の取り組みと状況について
2. まちづくり協議会について
3. 学校教育について

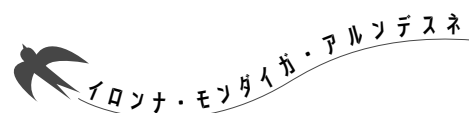
**8p** **中島義和** 議員  
(大河の会) **No.6**

1. 農政について
2. 助成金について
3. こども達の安心安全対策について
4. まつり花火について

**9p** **齋藤信行** 議員  
(大河の会) **No.7**

1. 除雪計画について
2. 観光事業について
3. 新庁舎及びサービスコーナーの職員の対応について

一般質問の全文は、各図書館などに置いてある議事録や、インターネット（市議会ホームページ内の「会議録検索」）で閲覧することができます。



ひとくちメモ… 一般質問の人数に制限はありません。1人当たりの質問時間は30分以内です。  
質問を行う議員は、事前に「こんな質問をします」という通告を書面で行います。  
本会議における質問の順番は受け付け順となっています。



消費税増税で中小企業はどうなるのか？

問 消費税増税の問題について、市長は9月議会ですべてに答えている。「燕市には中小企業が非常に多く、まだまだ景気回復の実態が伴っていない現状がある。増税が行われた場合、なかなか価格に転嫁できない点、あるいは駆け込み需要による逆の反動など、いろんな企業の方々からそのような心配や懸念をお聞きしている状況にあり、総理大臣にはそれらの点を踏まえた中で適切な最終判断

# 消費税増税について どう思うか



本多了一 議員(日本共産党)

をしてほしいと考えている。しかし残念ながら、市長の言われることや地域の中小零細企業など全く度外視し、安倍首相は10月早々、来年4月から消費税増税を現行の5%から8%に引き上げることとを表明した。そのことについて市長の率直な感想をお聞きしたい。

答 先般、消費税増税の引き上げが予定どおり決定されたことは、私自身も残念に思っているところだ。しかし、決まったことなので今後は消費税増税の引き上げとともに経済対策、景気の腰折れを防ぎ、特に中小企業対策としての設備投資支援や経営支援の強化、消費税のアップ分の価格転嫁対策などを確実に実施してもらいたいと考えている。

# 平成26年4月の市長選挙について



大原伊一 議員(旭日会)

問 市長に就任後の新たな政策の自己評価について。

答 産業活性化のトップセールス、教育、子育て環境の充実、メガソーラーやESCO事業などのエネルギー・環境政策も先進的な取り組みができた。限られた財源の中で、日本一輝くまちの実現に向けて全力投球をしてきた。

問 今後の産業振興政策について。

答 新興国との価格競争などにさらされている商工業、PPP問題や、減反政策の見直しという大きな転換期を迎えている農業、この環境の変化にいかに対

応していくかが重要。ほかとの差別化のできる付加価値の高い商品・サービス、新商品・新技術開発、需要開拓への支援策を継続し、地域のブランド力、イメージアップに取り組みしていきたい。

問 今後の財政運営について。

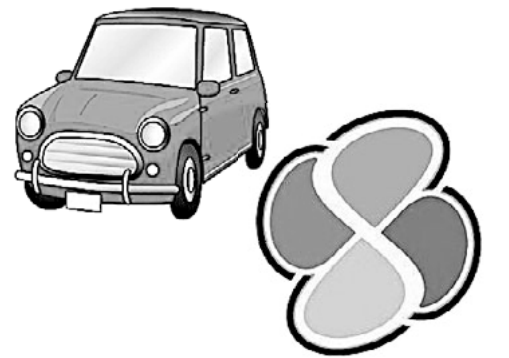
答 合併特例債の償還が平成33年にピークを迎え、全体で49億円となる見込みで、交付税の一本算定の影響と合わせて厳しい財政運営が想定される。定員適正化計画の着実な実施、幼稚園・保育園の適正配置、民営化の推進、受益者負担の見直しなど、行政改革を進めていきたい。

問 来年4月の市長選に出馬されるのか。

答 「日本一輝くまち燕市」を目指して誠心誠意取り組んできたが、まだ道半ばと受け止めている。平成26年4月の次期市長選に再度立候補させていただき、市民からご支持をいただけるのであれば、愛する燕市発展のために、引き続き市政運営の先頭に立って精一杯頑張らせていただきます。



ミチカナ・モンダイヲ・ギインガ・キキマス



問 健康状態に不安があったり、高齢による運動・判断機能の低下によって運転に自信がなくなった方が事故を起こす前に自主的に運転免許証を返納する制度があるが、返納後、自分を証明するものがなかったり、不便さを感じているようだ。これらを緩和するため、自主返納支援事業としてデマンド交通の回数券を交付することを検討していく考えはないか。

答 高齢者が今後ますます増加することに比例して、高齢者が関係する事故の発生も増える恐れがある。その抑制の一環として自主返

# 高齢者の運転免許証 自主返納支援事業



渡邊雄三 議員(公明党)

納を積極的に進め、バス・タクシー券を交付することに対して、市として前向きに検討していきたい。

問 通学路の危険箇所については、100カ所すべてを確認し、2割を残して改善が進んでいるとあったが、具体的にはどのように改善がされたのか。また、桜町踏切付近の安全対策については、具体的にどのように改善されたのか。

答 国道の危険箇所については、歩道の新設やガードレールの設置を国へ要望し、工事に着手した。また、分水北小学校区、島上小学校区は、横断歩道の設置を行った。桜町踏切付近の安全対策は、「通学路注意」という表示板を4カ所増設し、ドライバーへの注意喚起を促すなど、安全対策を講じてきた。

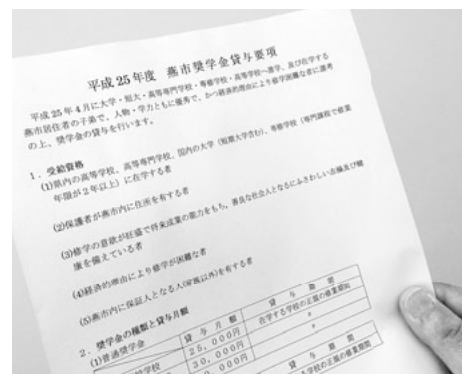
# 奨学金制度の拡充について



樋浦恵美 議員(公明党)

問 奨学金制度を利用するに当たり、燕市では他の奨学金との併用ができないため、併用できるようにしてほしいという声を聞いている。また、入学時の負担を軽減するため、奨学金の支給方法の見直しが必要だと思いが、どのように考えているのか。

答 本年、奨学金を返還されている方と、現在奨学金を利用されている方を対象にアンケート調査を実施したが、奨学金の併用については約6割の方が併用の導入を希望されている。支給方法の見直しについては、授業料



奨学金貸与要項と申請書は教育委員会まで

等の納付時期を考慮し、貸与の時期を早めるなどの改善を行っていきたくと考えている。今後は、奨学金がより利用しやすくなるよう、現行制度の点検を行い、見直しを進めていきたいと考えている。

問 生徒6カ月から小学6年生までの子どもを対象に、インフルエンザ予防接種費用のうち1000円を1回補助している。13歳未満の子どもは2回の接種が必要であるが、補助の回数を2回にできないか。また、予防接種助成の対象年齢を中学3年生まで拡充できないか。

答 あくまでも任意接種であり、個人予防を基本とするもので、2回目の拡充は考えていない。小学生までの助成を継続し、中学3年生までの拡充は考えていない。

# 来年度のおいらん道中は



齋藤信行 議員(大河の会)

**問** 来年度のおいらん道中、今年度とどう違うのか。

**答** 去る11月27日実行委員会が開催された。4月に観光協会が統一され、来年度のおいらん道中はこれまで分水地区に限っていた桜まつりをつばめ桜まつりに名称を変更。おいらん道中の前後2週間、市内各地で桜関連イベントを開催、市民が一体となって盛り上げようという企画を中心に考えている。

**問** 来年度、前夜祭とイベントなど、アイデアは今年度と違うのか。

**答** 前夜祭について



分水堤防上でのおいらん道中

は、現在、前日の土曜日に分水さくら公園で飲食や特産品の販売、ステージパフォーマンス等を計画している。また来年度はおいらん道中の観光客から市内に少しでも長く滞在していただくための取り組みとして、分水さくら公園のつばめしえ会場での磨ぎ体験の実施や金属加工製品の販売、まち歩きマップを活用する市街地への誘客を図るイベントを計画していきたい。

**問** 保険証などを忘れた高齢者の本人確認の方法について。

**答** 住民票等証明書請求時の本人確認の方法としては、公的機関が発行した顔写真付きの運転免許証やパスポートなどで確認している。窓口での対応については適切に対応させていただきたい。

## ギカイデノ・ヤリトリヲ・ミニキマセンカ

# 市長選に向け 来年度の重点施策は

**問** 今、来年度予算方針のもと、予算編成の最中かと思うが、市長選の選挙公約にもなる重点施策は何か伺う。

**答** 予算編成作業に着手したばかりで答弁することは難しいが、大きな方向性として引き続き産業の振興と未来を担う子どもたちの育成に向けた施策として配慮した予算にしたいと考えている。

**問** 個々の自治体は限られた財源で政治的判断をして住民サービス



次期市長選へ向けて方針を述べる市長

の向上に努めるべきものと考えられる。中学校卒業までの医療費助成の見直し、行政サービスへの所得制限導入について市長の判断を伺う。

**答** 子ども医療費助成見直しについては、現状から推計すると約2000万円から2500万円の追加予算が必要になる。財源確保が大きな課題で慎重な判断が求められる。当面は国や県に対して財源確保と制度の充実を強く要望していく。所得制限に関しては、私も国の社会保障全体がその方向に動きつつあることと認識している。近い将来、検討する必要もあるかと思う。しかし、所得の捕捉、事務処理体制が確立された時点で現実的に移行されるべきと考えている。



渡邊広宣 議員(鴻巣クラブ)

# これからの 財政運営は



塙 豊 議員(旭日会)

**問** 地方交付税の一本算定がいよいよ現実味を帯び、さらに平成27年度に実施される国勢調査では、平成22年度8万4000人ほどであった人口が8万人を大きく割り込むことが予想され、高齢者人口の大幅増加による社会保障費の増加、生産人口減による担税力の低下が予想される。燕市財政局では、当然予想範囲として対策も十分と考えるが、健全財政を維持しつつ、進んでいくための方策について聞きたい。

**答** 行財政改革の取り組みを引き続き維持し、安定的で持続可能な財政基盤の確立に努め、一本算定の段階的縮減の始まる平成28年度までに、財政調整基金のさらなる積み増し、公債費の頂点である平成33年度までに減債基金の残高確保が必要である。さらに、自主財源確保のために、従来の財政運営にとらわれない柔軟で多角的な取り組みが必要と考える。

**問** 教育立市宣言から4年経過し、学力向上に取り組まれてきたものの、はかばかしい成果が実感



燕市役所南側

できないが、教育現場においてさらなる学力向上につながる方策について聞きたい。

**答** 学校教育課では学校訪問に1層力を入れている。訪問回数は昨年度の2倍以上となり、学校の現状を常に把握し支援している。

# どうなるTPP「環太平洋連携協定」



中島義和 議員(大河の会)

**問** TPP交渉について、日本は7月に正式参加。安倍内閣は年内妥結に向け、日本が主導的役割を果たしていくべきだと表明。県は政府に対し食料・安全保障の観点から、主食用の米は関税撤廃の対象から除外し、ミニマムアクセス拡大や低関税枠の設定など、いかなる譲歩も行わないと要望。市民も不安の中、TPP交渉を見つめている。状況が断片的にしか伝わってこない現状を、どう認識しているか。

**答** 国の責任において重要5品目の関税堅持等、真に国益となる選



今後心配される農産物

択を是非とも行っていたきたい。

**問** 定住促進まちなか支援事業は、24年度新規事業として取り組みがなされた。新年度と今年度の実績はどのようになっているか。

**答** 24年度は、36世帯124人、そのうち、市外からの転入が55人。25年度は42世帯139人、市外からの転入は78人である。

**問** 夏祭りの花火大会会場は、移動できないか。

**答** 燕市夏まつり連絡協議会において、花火の打ち上げ場所を含め協議がなされた。来年度の打ち上げ場所については、市役所移転を契機に他の場所に移転することも検討してみても提起されている。今後、地権者も含め地域の方々の理解が得られるかどうかは、慎重に検討が進められ、その上で場所の決定がなされる。



小林由明 議員(旭日会)

# 若者の力をまちづくりに！

**問** 「つばめ若者会議」事業にかける、市長の思いを伺う。

**答** 「つばめ若者会議」事業は、強い思い入れを持って取り組んだ事業である。若者たちがまちの様々な課題を自分のこととして捉え、主体的に考え行動することを期待しており、若者会議を起爆剤に、その力やエネルギーを燕市の未来に生かしていきたい。

**問** 「つばめ若者会議」の力をどのように発揮させていくのか。

**答** 今後も大切に継続、発展させていくなから、自主活動の支援や行政との協働、そし



「つばめ若者会議」では、みらいの燕市のための活発な議論が展開されている

て行政の取り組みを手伝っていたことも考えられる。**問** 市内外の団体等と、「つばめ若者会議」とのつながりを構築すべきでないか。

**答** 自治体の境界を越えてつながり、交流していくことは有意義だろうと考えている。若者会議メンバーが企画することを期待しており、積極的に仲介もしていきたい。

# 市民への還元施設の目的として進めるべき！

**問** 旧吉田庁舎は市街地に残された貴重な空間である。吉田地域はもとより、燕市民にとつての地域公共の文教施設「燕中央図書館」として、市民が憩い、交流するゆとりある空間に有効活用してほしいと市民から強い声が多く寄せられているが、市の見解を伺う。

**答** 中央図書館への改修を有効な選択としていたが、財政状況を考慮し、見送られた経緯がある。社会福祉協議会への貸し付けや、子育て支援センター等に整備することにより、市民交流拠点となる。

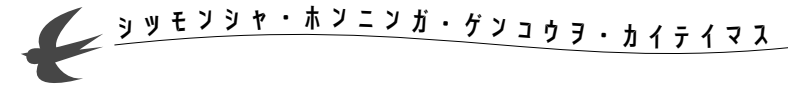


山崎雅男 議員(旭日会)

を図書館として活用する場合、今の建築単価の高騰を考えると7億円以上の費用がかかり、見送られた経緯がある。機能に疑問を感じられたという質問を受けており、社会福祉協議会と機能強化について相談している。



吉田図書館



ツッモンシヤ・ホンニンガ・ケンコウヲ・カイテイマス

# 指定管理者制度はビジネスチャンス



中山真二 議員(旭日会)

**問** 今後増える指定管理者制度は、大きなビジネスチャンスとして考えられるか。

**答** 報酬に関する規定の定めにより、専門職を除き「月額5000円」という統一的な報酬としている。

**問** どの施設が指定管理なのかわかりにくい。看板等を整備し、



燕市の旧水道事業のシンボルであった水道の塔

苦情・要望等の言えるところを明記すべきと考えるが。

**答** 看板が小さくわかりにくかったので改善指導していく。

**問** 水道事業について、浄水場の耐用年数と現状は。また今後の計画と資金について。

**答** 耐用年数は、50年から60年、現状は37年から47年を経過している。非常に大きなお金がかかる上、耐震性も考えられる重要な課題なので、検討や準備を今後しっかりとやっていく。

**問** 合併特例債など、新市建設計画は現在どのようになっているのか。見直しとチェックをすべきではないか。

**答** 発行可能額は約307億円。予算ベースで約221億円消化し、発行可能額は残り86億円。今後は延長や変更も考慮しながら、急いで検証し、示したい。

# TPPと農業問題について



今年ほど農政転換の重要な年はない

**問** 重要5品目(コメ、麦、牛・豚肉、乳製品、甘味資源作物)を守る。守れないのであれば、TPP交渉から脱退すべきと私は考えるし、今必要なことは、専業農家であれ兼業農家であれ、意欲のある農家が安心して米づくりができる環境を保障することが今後強く求められると思うが、見解を伺う。

**答** TPP問題については国の責任で、公約である重要5品目を守り、真の国益となる選択を行うべきと考えている。また、意欲のある農家の皆様方が安心して米づく



土田 昇 議員(日本共産党)

りができるように生産者、農業関係団体などと連携を図りながら、適切な対応ができるよう考えていく。

**問** 今後は農家自身がコメの販路拡大に努力し、個別組織、団体等々に対して行政として援助することも必要になってくると思うが、その認識について伺う。

**答** 農業もこれからは売り先というものを確立して、ぜひ既存の流通システムというところにこだわらず、農家の方々あるいはその団体の皆様方にご理解いただければ、十分やり得る道があると思っっている。ぜひ、そういった方向で農家の方々、関係者の方々に意識を変えていただければ、積極的に応援していきたい。

# 自治体及び企業の社会責任は？

**問** 自治体にとって社会責任への取り組みは、自らの日常業務において進めるのみならず、監督、推進や調達といった政策のすべてを動員して、企業や団体に促すことが不可欠。企業の社会貢献活

**答** 自治体にとつて社会責任への取り組みは、自らの日常業務において進めるのみならず、監督、推進や調達といった政策のすべてを動員して、企業や団体に促すことが不可欠。企業の社会貢献活



齋藤紀美江 議員(旭日会)



顔も頭も鬼メイク(酒吞童子行列)

**問** 自治体の社会責任として、法令遵守はもちろんのこと、環境負荷や男女共同参画、様々な差別的禁止、グリーン調達等の観点から求められている。公共事業の入札参加事業者の社会責任を評価し入れるところが増えているが、市の入札での評価項目はどうか。法令遵守の宣誓書なども含んでいるのか。

**答** 自治体にとつて社会責任への取り組みは、自らの日常業務において進めるのみならず、監督、推進や調達といった政策のすべてを動員して、企業や団体に促すことが不可欠。企業の社会貢献活

## ツギノ・ギカイハ・サンガツ・デス

# 民主主義の一機関か



阿部健二 議員(無所属)

**問** 中央大学の今村教授は「市民と議員の条約づくり交流会議2006」での基調報告で、「民主的な自治の仕組みを構想する上で、長と議会のいずれがより本質的な位置を占めるかと言えば、それは議会の側ではないか」と言い、「議院内閣制やシティーマネジャー制などが世界の主要国で現に採用されていることを考えるならば、公選の長が必要ないとの主張もさほど危険な思想に当たらない」と言っている。



市役所4階・本会議場

**答** 今村教授の「原理原則の自治体は住民がつくる」との考えは、そのとおりだと思っており、住民自身が自治の姿を決めることが地方自治の本旨だと思ふ。自治体と議会との関係で、議会を手続き民主主義における手続きの一つと思っているのでは、とのお尋ねには、我々はそのような考えは持っていない。法律に基づいて執行部の役割として議案を提案し、議会の判断を仰いでいるもので、その際、議員それぞれが、その見識と信念に基づいて主体的に判断いただいているものと認識している。



中学校の部活では楽器が古かったり足りない現状にあります

# 遊休楽器活用の「楽器バンク制度」



長井由喜雄 議員(日本共産党)

**問** 市医師会の講演会で、小中学校を対象としたインフルエンザの罹患状況アンケートで、昨冬の接種による罹患率を示す「ワクチン効果」が紹介された。その結果からも中学生まで拡大することも有効・有益だと考え、補助拡大を求める。また、今後の調査の継続とデータを取得の取り組みはどうか。

**答** 市内小中学校6440名が対象で86%の回答を得た。ワクチン接種率は罹患率が13%少ないという結果で、「ワクチン効果」が認められた。助成は現行の小中学生以下を対象としていく。調査は今回を含め3年間継続して実施していく考えだ。

**問** 24、25年度の「夢を奏でる楽器整備事業」については、現状ではまだ不十分が残ると思う。今後についてはどう考えるか。

**答** 「夢を奏でる…」は学校から一定の評価を得た。「楽器バンク制度」は市民と学校をつなぐ面でも非常に参考になる意見だ。必要性、運用方法を校長会や各校担当から聞き、研究していきたい。

**問** 10回目となる酒吞童子行列。観光大使のキラ・カーンさんに主役の酒吞童子になってもらうことはできないか。お土産の開発はどうか。吉田諏訪神社の彫刻のすばらしさを知ってもらうことも大事ではないか。

# 誰も見てない、写真もない事故とは？



タナカ・キン 議員(無所属)

**問** 分水庁舎解体工事中の重油流出事故では、管理監督が営繕建築課、公害の観点で生活環境課、解体後に消防署をつくるので防災課と3つが係だった。事故当時の現場を担当者のだれ一人として確認していない。また、作業前に義務づけられている現場の状況写真さえ、業者は撮っていなかった。これでは処理費が1000万円(その後の調査で1400万円と判明)とのことだが、契約の変更手続きはどうなのか。

**答** 緊急性・安全性の中で、本来、解体工事の変更契約を考えていたが、工事内容を踏ま

**問** 再度の入札では120日間の工期で公告し、翌日の契約では152日間に延長されている。過去の例は。

**答** これも後で報告する。

1回目 6月9日(不調)	2回目 7月10日(落札)
4760万円(100.0)	3345万円(100.0)
4790万円(100.6)	3360万円(100.4)
4820万円(101.3)	3385万円(101.2)
4870万円(102.3)	3500万円(104.6)
5667万円(119.1)	4730万円(141.4)
6017万円(126.4)	5300万円(158.4)
6077万円(127.7)	5500万円(164.4)
6100万円(128.2)	6970万円(208.4)
7480万円(157.1)	

分水庁舎解体工事入札結果は、2回目のほうがばらつきが高い

# 輝くまち燕市を考えた政治に前進!



大岩 勉 議員(旭日会)

**問** 国道116号バイパスで手つかずの場所では当燕市内だけであり、着工に向けた努力、市役所一帯の土地区画整理事業の実現推進を行うべきと思うがいかがか。鈴木市政4年間は深謀遠慮な政治運営を行ってきたのか。

**答** 事業化に向けた調査・設計が進められていたが、現在休止状態になっている。知事にも要望をお願いして、積極的に国にアプローチをし、作業の再開に向け、燕市として全力で取り組んでいく。また、将来を見据えた職員の人材育成、民間活力の導入行政改革、財

務体質の強化に努めてきた。  
**問** まちづくり協議会の活動と公民館活動の連携を精査し、今後とも支援をしていただきたい。

**答** 活動のマンネリ化を懸念しているところもあるが、必要な事業を精査し、生涯学習課と連携をとって、無理のない広域的な活動をお願いしていく。

**問** 高齢者の事故防止協力運動やふれジョブ活動の試み、不登校生に自信を与える生き抜き力を身につける教育を。

**答** 中学生のヘルメットの再利用も事故を防ぐ手段のひとつと思う。障がいを持つ児童生徒も他の生徒と見学や体験活動を行っており、学校と地域が一体となって子どもを守り育てていける取り組みをしていく。また、不登校の児童には校外学習や実習を通し、豊かな体験ができるよう配慮していく。



ダレデモ・タセマス・セイガン・チソジョウ

## 請願の審査結果

12月定例会に提出された請願1件と9月定例会から継続審査となっていた1件の計2件について審査しました。

### ■ TPP交渉に関する請願

#### 請願事項

1. 国権の最高意思決定機関である国会の衆参農林水産委員会の決議等を遵守し、農林水産分野の重要5品目の聖域が確保できないと判断した場合には、即刻交渉から脱退すること。
2. TPP交渉及び日米二国間の平行協議について、国民に対する情報開示の徹底に努め、十分な国民的議論を実施すること。

#### 請願者

新潟県新潟市西蒲区巻甲12010番地  
越後中央農業協同組合  
経営管理委員会会長 吉田博之

全会一致  
採択

### ■ 「地方財政の充実・強化を求める意見書」の採択を求める請願書

#### 請願者

新潟県燕市吉田西太田1934番地  
燕市職員労働組合 執行委員長 清水 強

賛成少数  
不採択

#### 付託された総務文教常任委員会の意見

市職員組合からの請願であり、市当局に提出する内容であるとともに、平成26年度の地方財政計画が発表前であり、実現性が不確実であることから本請願に反対する。

## 知っていますか? 「請願」と「陳情」

「請願」「陳情」は、市民の皆さんが、国・県・市に対して要望があるときに、市議会に対して要望することができる仕組みです。議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」といいます。

請願・陳情は常に受け付けていますが、審査は、議会の定例会(3月・6月・9月・12月)にて行います。

提出された請願・陳情は、所管する常任委員会で審査され、その後、本会議にて「採択」「不採択」「継続審査」の決定を行います。

